

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.84 とよなか国際交流センター広報誌 2016年3月

3月号



「卒業式の切なさと未来への希望を表現しました」
 山腰 マミ(大阪府立池田高校2年生)

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~17:00)

3/6 (日)

13:00~16:00 / 17:00~20:00

庶民派室内フェスSho-Ming-Ha!

出し物、各国のお料理出店、ダンスや歌の発表、皆で作るアートオブジェ、ラジオの公開録音ほか(17時~20時は高校生以上対象)

会場:ピアサロン(中桜塚2-27-8 桜塚ショッピングセンター2階)

参加費:前売り500円、当日600円(チケットは600円分のお食事券として使えます)

3/13 (日) 14:00~16:00

春期ホストファミリーボランティア登録説明会

留学生と交流するホストファミリー事業(家庭宿泊なし)の説明、経験者や留学生との懇談他。
定員:30人(要申込、先着順)
一時保育:3月8日までに要申込

3/11 (金) 14:00~16:00

大規模災害時における外国人支援セミナー

豊中市における支援の現状報告、およびNPO法人多文化共生マネージャー連絡協議会事務局長の時光さんによる講演とワークショップ等
定員:80人(要申込、先着順)

共催:豊中市、大阪府国際交流財団/後援:豊中市社会福祉協議会

3/19 (土) 14:00~16:00

哲学カフェいとよなか国際交流センター

「ほめる」ってなに?をテーマに、大阪大学大学院生・鈴木径一郎さんの進行で対話を楽しむ。
定員:20人(要申込、先着順)

3/25 (金) 12:15~15:30

夫婦間コミュニケーション講座 & 無料健康相談会

日本人男性と結婚した外国人女性のための、夫婦間のコミュニケーションに関する勉強会(12:15~13:40)と、保健師や臨床心理士による無料健康相談会(14:20~15:30)

対象:外国人女性 30人(要申込、先着順、軽食あり、一時保育あり)

※当センター相談対応の言語の通訳有、要予約

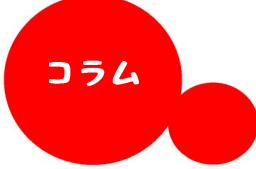


私がとよなか国際交流協会の事務局長として赴任してきたのが、3年前の2013年4月1日でした。当初は、正直なところ右も左もわからず、特に知った人もおらずで狼狽えるばかりの日々でした。その上に、来た年が協会とセンターの20周年や第2期指定管理者の中間評価の年でもありました。少し時が経つと次から次と日常の事業や関係諸機関との会議、20周年記念で開催した副市長と元理事の若一光さんとのシンポジウムや、韓国からの無形文化財「古城五広大」の仮面劇公演のイベント、そして中間評価に向けた資料作りと対策、またまた、20周年記念冊子&フォトブック作りなどなど、いつまでも狼狽えている間もなく1年が過ぎてしまいました。

1年が過ぎてふり返った時に、何と私がいなくても、協会の事業や財団の運営が回っていることに気づきました。各事業や運営が持続可能な活動としてシステム化されていることに感動を覚えました。このシステムを創ってきた前事務局長の榎井さん(現理事)の凄さと各職員の遂行能力に感銘し、市民・学生ボランティアの皆さんの献身的で意欲的な活動参加の姿に頭が下がる思いでした。一方で、私の役割はといえば、事務局会議で難しい言葉が飛び交う中で、『悪いけど、ひらがなでしゃべってくれへん。』とお願いしたり、『近所は仲良くして、誰にでもあいさつしよう。』と促したり、という素人目線での感覚を伝えることだけのようなのでした。できたことと言えば、様々な人

や関係機関との間の潤滑油的な役割で多少の関係改善には役立てたかなと思っています。

ふり返れば、豊中に来ての3年間は、私にとって新たな出会いと学びが豊富にあり、いつも新鮮で活気にあふれたものでした。何もできず不十分なままで、この3月末に事務局長を退任しますが、この事業システムと職員の専門性と意欲的なボランティアがコラボしていれば、今後も協会運営と事業展開に心配はないと確信しています。来年度は、第3期指定管理が始まり、新しい事務局長を迎え、新しい職員も採用されます。協会事業や運営面でも新たな部分が導入されることになっています。まさに心機一転、飛躍の年として位置づけたいと願っています。私も微力ながら、お手伝いできればと思っています。



外国人相談あれこれ



吉嶋かおり(外国人のための多言語相談サービス・相談スタッフ)

ジャパニーズ・フィリピン・チルドレン
(JFC:多くはフィリピン人女性と日本人男性の間に生まれた子ども)の日本国籍を取る手続きの相談が急増しました。1980年代以降、多くのフィリピン人女性が「エンターテイナー」として日本に出稼ぎに来て、日本人男性と出会い、子どもをもうけました。日本人男性がフィリピンで女性と出会い、子どもができたという場合があります。結婚したカップルもいれば、婚姻はせずに子どもをもうけたカップルもいました。しかし数万人以上のフィリピン人女性と子どもが、日本人の父親といつの間にか連絡が途絶えて現在に至っています。

JFCには日本国籍を取っていない子どもが多くいます。父母が婚姻をせずに生まれ、認知がない子ども、子どもの出生後に父母が婚姻したものの、父親が認知をしていない子ども、婚姻したものの、日本に出生届を出していない子どもです。

認知があれば、子ども自身がどちらの国に住んでいても、日本国籍の取得手続きをすることができます。しかし子どもが20歳までという期限があります。この期限はJFCにとって大きな壁です。そもそも認知がない子どもが多いので、行方不明の父親

を探し、認知を認めさせ、その上で国籍取得手続きをします。父親から遺棄されている母子にとって、自分たちで進めるのはほとんど不可能です。そもそも「20歳まで」という期限があることを知りません。そうして年月が経ってしまい、紆余曲折を経て支援につながったときには、すでに子どもが成人していたということがあります。このような状況におかれているというのになぜ20歳という期限が必要なのでしょうか。

(※)

一方、婚姻後にフィリピンで子どもが生まれたものの、父親が出生届を日本側に出していないという子どもも多くいます。この場合は、子どもは日本に来日し、おおむね半年程度住んだ後でなければ国籍取得手続きを進めることができません。これは、出生届を出さなかったということが日本国籍を放棄したと見なされるという国籍法によるものです。ちなみに「半年」について法的根拠はなく、中長期の在留資格を持っていても、法務局は手続きを受け付けません。この国籍再取得という手続きには、上記に加え、やはり20歳までという期限があります。さらに、子どもが15歳未満であれば、父母両方が手続きをしなければなりま

せん。夫が勝手に離婚届を出している人もいれば、婚姻状態だが夫と全く連絡が取れなかったり、離婚の求めに応じてくれないという人が多くいます。このような夫を相手に、まず、子どもの親権者を定める法的手続きを進めなければ、母親一人で国籍再取得手続きをすることができません。ですので、子どもが15歳になるまで待つという選択肢を取る人もいます。

具体的にどのように対応しているか、どのような壁や問題に当たったかについては、また次回に続きたいと思います。

※日本は二重国籍を認めていません。未成年であれば出生地や父母の国籍によって日本と他の国籍を持つことは可能ですが、22歳までに一つに選択しなければなりません。20歳という期限はこの規定が背景にあるのでしょうか。以前は、認知なく出生した子どもは日本国籍を取ることができませんでした。この対象は母親が外国人である国際婚外子です。これは差別であるとして、2009年国籍法が改正され、出生後認知でも国籍取得が可能となりました。しかしこのように、国際婚外子にとっては、結局は高い壁が残されたままと言えます。

3/31(木)
10:00~13:00

平和と共存のための～おまつり地球
一周クラブ「フィリピンを知ろう!」

おまつり地球一周クラブは、地域在住の外国人を講師として招き、その方の国の文化紹介、遊び、料理等の体験を通して、楽しく交流をしながら、異文化に触れ学ぶことができる国際理解プログラムです。対象は近隣地域に暮らす小中学生です。

また、テーマを外国だけに絞ることなく、絵画や工作などの創作活動や実験イベントを開催するなど、多様なテーマで実施をすることもあり、大変人気のある事業のひとつです。参加する子どもたちは、毎回積極的に活動に加わり、興味深く講師と質疑応答をしています。そんな交流を通して、新たな理解や興味の輪が広がりゆく様子をうかがうことができ、講師やスタッフも毎回嬉しい気持ちになります。来年度も子どもたちがワクワクするような企画を沢山考えていきますので、楽しみにしてください。

今年度最後の一周クラブはフィリピン出身のお母さんから秘伝のお料理を教えてもらいながら、フィリピン文化について学びます。きっと素敵な春休みの思い出になりますよ。ご参加お待ちしております。(会場は同センター、定員20人、参加費500円、要申込み、保護者同伴可 ※10:00~13:00 に時間変更となりました)



過去の一週クラブの様子

3/5(土)
10:00~12:00

事業評価会を実施します!

今年も事業評価会の時期がやってきました。事業評価会とは、とよなか国際交流センターの指定管理者であるとよなか国際交流協会の全事業の活動のふりかえりを共有し来年度の事業に活かすことを目的に、年に一度開催している市民参加型の評価会です。今年度は4つの視点(①居場所:だれもが安心・安全に活動できる場か、②エンパワメント:参加者がもともと持つ力を引き出せているか、③ボトムアップ:皆の意見が生かされているか、④双方向性:支援者側の気づきはなにか)に基づいて、各活動に関わるボランティアを中心に、評価の作業がおこなわれました。このふりかえりの作業は、市民が主体となる活動において欠かせない作業です。決して楽な作業ではありませんが、よりよい活動にむけて毎年必ず実施しています。当日は、活動に携わるボランティアや職員が発表者となり、1事業2分の発表を行います。各事業の普段の様子、活動で大切にしていること、関わる人たちの想いなどが伝わってきます。評価会後は、ランチ交流会を予定しています。地域の団体やお店に注文した料理を囲みながら、評価会に参加した人同士の交流を深める機会にしたいと考えています。



なんぢゃ・カンチャ・言わせてもらえば(第84回)

「ムスターファさんとの再会」

皇甫康子(ふんぼ・かんぢゃ)

2002年にアフガニスタンから戦争難民として12歳の時、日本に来た、ムスターファさんのお話をはじめ聞いたのは、2014年6月に開催された大阪府外国人教育研究協議会第22回研究集会(府立外教大会)の全体会でした。中学校での講演をお願いすると、快諾してくださり、仕事の合間を縫って時間のかかる池田まで来てくださいました。

アフガニスタンがどこにあるのか、大きく4つの民族がいて、それぞれロシアやインド、トルコ、アジアという違った顔立ちをしていること。たくさんの国の侵略、侵攻にあい、1989年、ソ連軍が撤退した後、国内の支配をめぐってアフガニスタン紛争(1989年-2001年)がはじまり、パキスタンに残されたアメリカ軍の武器を手に入れたターリバーンが力をもったせいで、ムスターファさんの家族は難民になり、日本に住むことになったいきさつが中学生にわかりやすく語られます。

「どこにあるのかも知らなかった日本に着いたとき、トイレの使い方ひとつわからなくて、不安だった。魚を食べたことがなかったので、はじめて食べたうどんの出汁の魚臭さに吐きそうになった。アフガニスタンの広い家とはちがいで、日本のマンションは鳥小屋のように狭く感じた。それまで右から左に書く字だったのが、学校に行くと、ひらがなも漢字も左から右。真逆の文化にとまどいしんどかった。体育と図工の時間以外は日本語教室で学習していたが、

最初、珍しがって遊んでくれたクラスメートも、慣れてくると日本語が通じないので面倒くさいといじめられるようになった。4年間、離れ離れだった家族がようやく一緒に暮らせるようになった。苦勞している両親に心配かけたくなかったので、いじめられていることは言わなかった。とくにお母さんは家の中にいるだけの生活。いじめられても学校に行ける自分はまだましだった。中学校に入ってからは陸上クラブの花形になり、一目置かれ、いじめられることがなくなった。2001年のアメリカ同時多発テロ事件以降、アフガニスタンというとテロリストと思われるようになり、アフガニスタンから来たことを隠した。スカーフを巻いた母親と一緒にだばれるので、一緒に歩かない。電車にも別の車両に乗っていた。ひどいことをしたと思うが、それくらい追い込まれていた。適当な嘘ばかりついて、中学校生活を終え、外国人枠がある高校に入学することができた。そこは中国の生徒がたくさんいて、中国の文化活動が活発だったが、その他の外国人生徒が集まる場がなかったのでクラブをつくった。韓国やフィリピンをはじめ、外国人生徒が集まると、自分の国の自慢話をはじめ。アフガニスタン人なのに、アフガニスタンのことを避け、何も知らない自分に気がついた。今までの自分を作文に書き、コンテストに応募すると全国大会にまでいくことになった。東京だったのに、当日は仲間がたくさん来ていて驚いた。友達が自分のすべてを受け

入れてくれたことがうれしくて、生き方が変わった。アフガニスタンのことをアピールできる自分になっていく。そして、大学では、留学生のために何かしたくて、英語は話せないけど、気持ちで話した。そのうち、生きた英語として話せるようになった。その後、ワーキングホリデーでカナダに行き、働きながら英語を学んだ。多文化なカナダ人の友人がたくさんできた。昨年、就職した会社はアフガニスタン人が経営する会社で、日本語を話せる同僚は一人もいない。三つの言葉を使える自分にできない仕事で、やりがいがある」というお話の最後は2011年に大好きだったおじいさんが亡くなったので、はじめて里帰りをしたときのカプールの映像でした。お墓の掃除をする子どもたちの顔は、それぞれ肌や髪、目の色がちがっています。舗装されていない道を走ろうとする車に群がる子どもたちが、小銭をせびります。内戦前にはこんなことはなかったとムスターファさんは嘆いていました。

質問に答えるムスターファさんからアフガニスタン料理の素晴らしさや、家族の絆、日本の文化を押し付けないで、たくさん話を聞いてくれた先生の存在を知ることができました。言葉も生活習慣も違う「別の星」からやってきたムスターファさんは、しっかりと自分の場所を作ってきた自信で輝いていました。素敵でした。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業 (以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・インドネシア語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ大学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるばづくりをしています。

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・日本語(ポルトガル語は予約制です)

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようがちゃがちゃだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが出会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママ友づくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

……その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook!ほぼ毎日更新中!「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間:午前9時~午後9時30分/業務受付時間:午前9時~午後5時 休館日:毎週水曜日、年末年始
 アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)
 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター
 E-mail: atoms@a.zaqq.jp http://www.a-atoms.info

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。
 センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後5時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室 1	41	18	520 2,600	720 3,600	640 3,200	1,880 9,400	ホワイトボード(小)
会議室 2A	34	21	480 2,400	600 3,000	520 2,600	1,600 8,000	
会議室 2B	65	48	840 4,200	1,120 5,600	1,000 5,000	2,960 14,800	
会議室 2C	33	21	440 2,200	560 2,800	520 2,600	1,520 7,600	ホワイトボード(2ABC2BCを一堂として使用する場合は不可)
会議室 3	55	18	520 2,600	720 3,600	640 3,200	1,880 9,400	ホワイトボード(大)
会議室 4	63	30	840 4,200	1,080 5,400	960 4,800	2,880 14,400	ホワイトボード(小)、流し台
会議室 5	27	12	360 1,800	480 2,400	400 2,000	1,240 6,200	ホワイトボード(大)
和室	38	18	480 2,400	680 3,400	560 2,800	1,720 8,600	10畳
ギャラリー	18	-	240 1,200	320 1,600	280 1,400	840 4,200	壁面ガラスケース、ビクターチェアール
プレイルーム 1	57	20	880 4,400	1,160 5,800	1,040 5,200	3,080 15,400	子ども用トイレ
プレイルーム 2A	43	15	680 3,400	880 4,400	760 3,800	2,320 11,600	子ども用トイレ、畳(一部)
プレイルーム 2B	52	18	800 4,000	1,040 5,200	920 4,600	2,760 13,800	子ども用トイレ
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480 7,400	2,000 10,000	1,760 8,800	5,240 26,200	アンプ・マイク(必要な設備の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
料理室	90	30	9:00~13:00 1,720 8,600	13:30~17:30 1,720 8,600	18:00~21:30 1,560 7,800	9:00~21:30 5,000 25,000	調理台6台のうち昇降式調理台2個、準備室(ロッカー、洗面台、ホワイトボード)

備考 1. 2区分にわたって継続して使用するときの使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用する時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する時の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含みます(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

◎国際交流の活動を応援します!◎

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)
 ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
 ・センター内の掲示板で情報提供できます
 ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など
 その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html
 もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

◎「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です◎



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料!詳細はHPもしくはお電話にてお問い合わせ下さい。



◎アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分